



各位

2020年5月12日
 会社名 長野計器株式会社
 代表者名 代表取締役社長 佐藤正継
 (コード番号7715 東証第一部)
 問い合わせ先 経理部担当取締役
 角龍徳夫
 (TEL 03-3776-5333)

「中期経営計画」のお知らせ

当社グループは、2018年8月に中期経営方針を掲げ、3年先を想定した主要指標を策定してまいりました。

しかしながら、2019年度(2020年3月期)の当社グループの業績は、米中貿易摩擦に端を発する世界情勢の景況悪化、および半導体業界の減速による関連業界の連鎖影響を受け、経営目標は未達となりました。

今般、激変する事業環境下で中長期的に企業価値を向上していくことを目的に、2020年度を開始年度とする新たな中期経営計画を策定しました。

株主をはじめとしたステークホルダーと共存共栄の関係を築くとともに、目標達成に対する揺るぎない決意をここに表明し、グループの総力を挙げて邁進してまいります。

中期経営計画 ～成長に向けた新たな挑戦～

1. 業績の振り返り

売上高においては2019年3月期をピークに右肩上がりでも伸長しました。特に半導体向けを中心に産業機械・空調機器向けが好調に推移してきたのが要因であり、全社一丸となり取り組んできた成果に繋がりました。利益面も2018年3月期をピークに大きく伸ばしてきましたが、2019年3月期は半導体向けが後半失速し、製品売上構成の変動と材料費の高騰により利益率は低下しました。

2020年3月期は世界的な設備関連投資の抑制により、売上高、営業利益ともに前年度を下回る業績となりました。

【業績推移】



なお、取組施策については着実に進めており、グループ全体のシナジー効果を上げるために子会社化するなど、部品の安定供給や効率化が図られています。

同時に今後の課題も顕在化しており、解決を図るべく、新中期経営計画に施策展開いたしました。

2. 当社グループを取り巻く環境

中期経営計画の前提となる外部事業環境

- ◆今期に入り新型コロナウイルスの影響により世界的な経済不況に陥っており、今後の経済情勢の不確実性、不透明感が顕在化
- ◆地球温暖化問題が深刻化する中、資源の有限性を含めた社会インフラの安全意識が高まり、世界的な省資源化や環境配慮型ビジネスの動きが加速
- ◆IoT・AIを駆使したロボット化、5Gの普及などデジタル技術が急速に進歩し、「くらし」や「モノづくり」が大きく変化
- ◆新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、在宅勤務を含むテレワーク等の導入加速、また少子高齢化による労働力不足への対応策として、働き方改革に向けた取り組みが進展

圧力計測業界の事業環境

- ◆機械式圧力計の国内市場は飽和状態にあり、業界市場はリーディングカンパニーである当社の売上状況に依存
- ◆省人化を目的とした計測器のデジタル化やワイヤレス化による監視システム・サービスの普及
- ◆圧力センサ事業における量産品は価格競争が激化
- ◆圧力センサ単体の部品売りからシステム化とサービス体制の充実による高付加価値化への移行
- ◆圧力検出以外の物理量（温度、加速度、近接等）計測をラインアップした製品化が進展

3. 経営ビジョンと目指すべき姿

1) 経営ビジョン

当社グループは「一芸を極めて世界に挑戦」の企業理念のもと圧力計測一筋に駆け抜けてきました。今回、新たな中期経営計画を策定するにあたり、「安全・安心・信頼を基軸とした収益力強化と事業構造改革により持続的成長を目指す」を経営ビジョンに掲げております。

2) 中期経営計画の位置づけと目指すべき姿



4. 基本方針

4つの成長戦略を策定

成長戦略1 既存事業の競争力 強化

環境変化を見据え、核となる
既存事業のバリューアップを
図る

成長戦略2 グローバル戦略 の強化

グローバル市場で圧力センサの
「地産地消」を目指し、世界
シェアを拡大する

成長戦略3 新たな事業領域 の拡大

圧力計・圧力センサに続く
「第3の柱」を早期に確立
する

成長戦略4 経営基盤の強化

新たな競争環境の変化に打ち
勝つため、経営の根幹を支え
る経営基盤を強固にする

成長戦略1 既存事業の競争力強化

- ①製品の事業採算性向上
- ②顧客視点の高付加価値サービスの提供
- ③市場ニーズを踏まえた成長分野への積極参入

成長戦略2 グローバル戦略の強化

- ①ワールドワイドな地産地消の体制整備
- ②海外子会社によるグローバル展開加速

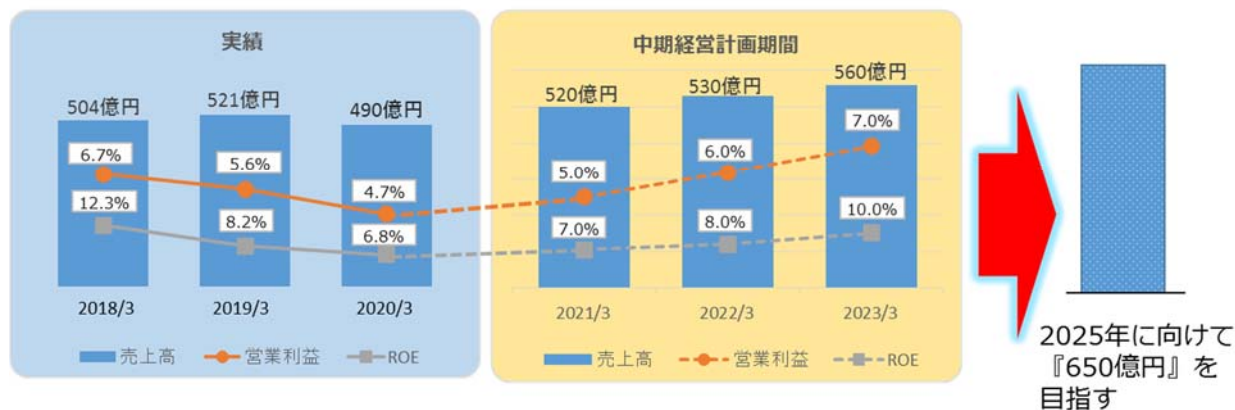
成長戦略3 新たな事業領域の拡大

- ①高付加価値サービスの提供 ～サービスプラットフォームの構築～
- ②代替困難な計測システムの開発と提供 ～極限環境計測センサ事業の創出～

成長戦略4 経営基盤の強化

- ①ESG 経営の取り組み推進
- ②IT化による業務改善
- ③グループ組織運営の強化
- ④人事制度の刷新

5. 経営目標 (2021年3月期～2023年3月期)



長野計器グループは圧力計測技術を生かし、”安全・安心”な製品を提供することをプライドに、今後も蓄積したノウハウと卓越したモノづくりで圧力計測のリーディングカンパニーとして、より高い『信頼』を築いてまいります。

以上

注意事項

本資料で記述されている業績ならびに将来予測は現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的リスクや不確実性が含まれます。
従いまして、さまざまな情勢変化により、当社予測と異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

